



千曲川地域の人と文化



NPO法人上田図書館倶楽部



夏の菅平高原から

深緑の季節、根子岳の裾野に広がる牧場。早朝、徐々に強まる日差しに解かれてゆく霧、木々の周辺から徐々に草原の扉が開かれる。

夏の菅平高原は、人々の心に感激や感動の場面を提供している。憩いを楽しみ、スポーツに集う人々、活動の汗は高原のさわやかな風が拭い取っていく。ある時は強く、ある時は優しく、人々に奮起のエールを送っているかのように。 表紙写真・文 矢幡正夫

contents

- 4 「別所線よいつまでも」…萌
- 5 "千曲川地域の芸術家を訪ねる" 石井弦楽器工房 石井 栄さん …伊藤文子
- 8 "観点"「ビジネス読書会」…岡田基幸
- 9 "信濃の美術館を歩く" 青木村「信州昆虫資料館」〜虫たちとの共棲〜 … 海野郁
- 12 "ぶらり散策"「山と言う字の形の山」…ひが
- 13 "波紋" 中村 功さん …木漏れ日
- 14 "連載"「心身症~病は気から」…澤田祐介
- 16 " セカンドライフを楽しむ " 「1400 坪の庭園で花を育てる」 内川 進さん …伊藤文子
- 19 "パズル" ちょっといっぷく …萌
- 20 " 随想 " 「心の言葉としての方言について」…嶋田貴美子
- 23 "連載"「上田小県地域の歯科医療の源流を辿る二」…村居正雄
- 27 あとがき

別所線よいつまでも

過日、上田情報ライブラリーで別所線ハーモニカ駅長で有名な春原さんを迎えてのサロントークがあった。「別所線の乗車記念として作りました」と1オクターブハーモニカペンダントを見せてくれ、それで1曲吹いてくれた。「お土産として上田・下之郷・別所温泉駅で販売しています。これは関西方面や静岡県など営業で歩いた時、静岡の楽器メーカーが発案し、製作してくれることになった」と、営業時の裏話もちょっと交えて、さらりと話してくれた。

車内で観光客と歌うときは歌詞カードを配るが、客の年齢、国籍、季節によって内容は変わる。幼児用もある。別所線のCMで効果が高いのは全国紙とラジオ・テレビの報道だそうだ。中にはテレビで知ったと次の日、関西からご夫婦で松茸山に来られた人もいたそうな。

外国人の旅行客の時はその国の民謡などを歌う。たとえば、北欧の人だとスコットランド民謡、ドイツ人の客の時は第九をやる。と言いながら、もうハーモニカを吹き始めた。会場の誰からともなく歌い始め、あたりは癒しの空気に包まれた。第九がクラシックであることを忘れた。改めてこんなに楽しい身近な歌だったと感じ入った。ドイツ語も交じえて最後は大合唱となった。歌い終わって同じ時間を共有できたこの解放感と満足感は何なんだろう。この快い興



1オクターブのハーモニカ

奮はずっと後まで続いた。

別所線が廃線にならず、こに至る状況に至るまでのご苦労が思いいつられ「別所線よいつまでも」と願いながら、できるだけ乗車し応援したい。(萌)

曲川地域の芸術家を訪ねる



石井弦楽器工房 石井 栄さん

ヴァイオリンは1万本以上。日

これまでに手がけたギターや 弦楽器の制作を始めて40年、

もどこかで奏でられている。 本全国の愛用者に送られ、今

シックギターを始め、ヴァイオ れ、展示ホールには30本ほど 物は展示ホールと工房に分か とまり、来訪者を出迎える。 ん手作りの木製小鳥が餌台に 埋め込まれ、入口には石井さ 物の外壁にはギターの板面が 真田町の小高い丘にある。 り高級芸術品。外国の骨董屋 しいシェイプは楽器というよ いもさまざまで、それぞれの美 ンバやビヴエラなど、形も色合 リンやウクレレ、ビオラ・ダ・ガ の作品が飾られていた。クラ 石井 栄さんの工房は上田 建 市 5

出会いの場となる。 者、聴衆とさまざまな人たちが集い オ、聴衆とさまざまな人たちが集い 示ホールは週末には開放され、コン 示ないの場となる。制作家、演奏 で買い求めた伝統的な楽器も一角

いがけず没頭し、出来上がった椅子考え、材料を選び、工具を使う。思芸科で椅子を作った時。デザインをは高校時代。たまたま選択した工ものづくりの道に入ったきっかけ

せたのかもしれない。 仕事との運命的な出会いを引き寄の注目の的となる。この時、生涯のは会心の作。先生にほめられ、級友

工房は一転して職人の世界。

1 階

さんにギター制作を、松田鉄男さなんにギター制作を、松田鉄男さいくつかのギターの本場スペインに渡り、大学ながら、音楽の世界に入る。卒を弾き始め、音楽の世界に入る。卒を弾き始め、音楽の世界に入る。卒を弾き始め、音楽の世界に入る。卒を弾き始め、音楽の世界に入る。卒を弾き始め、音楽の世界に入る。本大学は木材工学科を専攻し、木大学は木材工学科を専攻し、木

28年前に真田に工房を開いた。んにヴァイオリン制作を師事して、

すためだという。弦は羊の腸、ヴァデを使う。音響を受け止め、響き返マツ、厚みの部分と裏板は硬いカエマサ、原みの部分と裏板は破いカエ



ビオラ・ダ・ガンバ

当 初 5 Ű 0 王 0 一侯貴 年 \dot{o} 族 歴 の装 史を 飾的芸術 持 ご弦楽 これまでに10人ほどの弟子を育て の蓄積を次世代に引き継ぎたいと、 反映させる。このような高度な技術 違いを聞き分け、それをハード面に 変わっていくという。微妙な音色の といって年数とともに熟成し、音も 自然の材料ばかりなので、経年変化 よって生み出される音は違い、また われる。材料や板厚、デザインに イオリンの弓は馬の尻尾の毛 が使



中米の骨董店でみつけた 伝統的な楽器

平成 24年5月17 Ħ 訪問

は石井さんの個性が随所に光る。

く、芸術性を付加したい」。作品に んは「楽器としてとらえるだけでな

伊藤文子

OTTAVA (オッターヴァ)

http://ottava.jp/

TBS が運営するインターネットラジオのクラシッ ク音楽専門のラジオ局。24時間ライブで放送するほか、 生放送が終わった約30分後には再生して聞くことができ ます。再生は放送後1週間以内なら何回でも可能。6人の プレゼンターが交互に番組を担当しています。



石井工房看板



かれ

扱われるようになる。だが、石井さ るようになるにつれて、楽器として だったが、コンサートが多く開

ビジネス読書会

岡田基幸

財団法人上田繊維科学振興会理事 信州大学繊維学部特任教授 内閣官房 地域活性化統合事務局地域活性化伝道師

今年の1月からささやの米津仁志社長主宰の「ビジネス読書会」に参加している。毎月、ビジネスに関する課題図書が選ばれ、読書後の感想を参加者10数名ほどで述べ合うものだ。早朝6時半からの開始にも拘わらず、長野市や塩尻市からの参加もある。「他人が選んだ本を読む」、書店で自らは手に取らない本が課題図書に選ばれたりもする。絶版の分厚い歴史小説が選ばれることもあった。まさに新たな出会いである。参加者各々の読書後の感想を聞けることもありがたい。同じ本を読んでも、ここまで感想が違うものかと驚くことも多々である。「伝える」と「伝わる」の違いであり、自身に振り返って、文章を作成するときの戒めになる。

小生は、決して読書好きというわけではないが、人生の様々な 分岐点での選択で、本から授かった「言葉」に救われたと感じる。 自身にとって、読書とは、自らを勇気づける言葉、自らを鼓舞す る言葉、気分転換につながる言葉、人生にどう向き合うかを示唆 する言葉など、言葉探しの旅である。言葉の取捨選択も自身に任 され、「途中下車」も許される安価で気軽な旅である。

さて、先のビジネス読書会だが、読書会前のささやの「豪華で 美味しい朝食」という楽しみもある。妻や子ども達からは、早朝 から朝食も食べずに勉強会で熱心だねと思われているようだか。

> ビジネス読書会主宰の米津仁志社長の 人生を豊かにする ビジネス読書ブログ http://highlyeffective.naganoblog.jp/

「信州昆虫資料館」 青木村 虫たちとの共棲~



登ること10分、十観山8合目付近に 前を右折、つづら折りの 信州昆虫資料館は建つ。 青木村田沢温泉の富士屋ホテル 山道を車で

か右往左往しているうちに、いつの間に 各地や外国の蝶・蛾・甲虫・セミ・トンボ さんは笑う。 か足掛け10年です」と、館長代理の野原 整理のアルバイトだったのですよ。何だ 知さんが立ち上げを手伝った。「最初は 協会の会員で絵描きでもあった野原未 はスタートした。開館にあたって、昆虫 標本作品が寄贈され、信州昆虫資料館 2004年、小川原医師が顧問になって 療所長・小川原辰雄医師の蔵書である。 図書室がある。資料館代表の青木村診 昆虫資料館を開くことも知らず、蔵書 いる日本昆虫協会長野支部の皆さんの 資料館には長野県のみならず、 エントランスには、貴重な昆虫関係の 日本

されている。その上に、年々標本や ていく。しかし、昆虫採集や標本つ 文献、昆虫雑誌などの寄贈が増え 昆虫まで、さまざまな標本が展示 類、アブ・ハエ・ハチなどの他、水生

常設展示された標本を眺めている ないと野原さん。お話を聞きながら と、その際立った美しさに目を見張 が維持管理して守らなければなら クターも高齢化しているため、誰か くりに興ずる人は極端に減り、コレ

蝶やカブトムシの標本には、所以の ドイツ箱*が3箱ほど並んだ。ギリ 物語が添えられている。また文学に シャ神話にちなんで名付けられた に出てくる昆虫たち」展には標本の 春の企画、「ギリシャ神話や文学

> 大三郎『虫の宇宙 の思い出』、奥本 虫記』、ヘルマン・ くとるマンボウ昆 して、北杜夫『ど 登場するものと ハッセ『少年の日



博物館で考案されたもの *ドイツ箱とは長期保存に適した 密閉性の高い標本箱で、ドイツの

どんな芸術作品も敵わない気がし る。自然界で造形されたその姿には、

では、ライトアップされた大型スク 観察会とおすすめが続く。観察会 8月11~12日に開かれる夜間昆虫 医師による恒例講演「ハチ講座」 今後も、7月8日(日)の小川原

> リーンに集まる虫たちとの真夏の う山田さんの記事が新聞に掲載さ まとめて引き取ってくれないかとい を描き続けた。ある時、その作品を 山口県で農業をしながら長年昆虫 館の見どころのひとつ。山田さんは、 夜の饗宴が楽しめる。 Щ 田靖昆虫画展示室」も資料

山田靖さんの作品

れた。山田さんと資料館との交流

篇の詩を浮かび上がらせ、手書きし あまりの作品が寄贈された。 が始まり、2007年に400点 たものが展示室に飾られている。 葉を書きとめていた野原さんが、一 山田さんのおぼつかない話し言

じゃけん よく虫を追いかけては 幼い頃から虫が好きじゃった 衛生兵じゃったからのう わしゃ 赤チンで絵を描いた 戦争が始まってしもうてのう つかまえたもんじゃ

細かなもようがあって 虫は不思議な生きものじゃ 自然がつくったものは しかもちゃあんと生きておる 寸の虫にも

んは言う。

本当にすばらしい

絵なら無駄な殺生をせんですむ 殺し合いはいかん わしゃあ戦争は嫌だ

ている。 れたが、その魂はこの地で生き続け る。山田さんは2年前に亡くなら 時にはユーモラスな表情も見せてい さんが真摯に描いた昆虫画が並び、 この詩のように、展示室には山田

館に通い続け、管理してきた野原さ 想う館になればいい」 虫たちとに守られながら、人間を 「頭上に輝く星々と、地表を這う 10年近く標高千メートルの資料

平成2年5月19日訪問 海野 郁



図書室





信州昆虫資料館

「信州昆虫資料館」

所在地:青木村田沢1876-6

Tel.0268-37-3988

開館:4月中旬~11月下旬

AM10:00~PM 5:00

入館料:300円(中学生以下無料)

月・火曜休み

URL http://www13.plala.or.jp/kontyu/



「山」と言う字の形の山

「山」と言う字は、重なる山の形を表した象形文字から出来た漢字ですが、その通りの形に見える山が上田市内にあります。それは、かつて山城であった米山城と砥石城です。砥石城は武田信玄の「砥石崩れ」で有名です。これらの山を長島方面から見ると、きれいな三角錐の米山城が、台形をした砥石城の真ん中にピッタリおさ



まって見えるポイントがあるのです。少し移動しただけでも山の重なり具合が変わってくるので、探しながら歩くのも楽しいかと思います。高速道路からも一瞬見えるポイントがありますが、くれぐれも運転にはご注意を。(ひが)



深緑輝く5月4・5日に別所温泉駅の工芸市が開かれた。観光客に温泉のぬくもりとともに旅の思い出を持ち帰ってもらいたいと、ほぼ毎年開かれており今年で13回目。県内外から10人ほどのクラフト作家が出品した。飛騨のオークビレッジで修行した木工職人、小人の世界へ誘うようなミニチュアハウス作家、高遠からバイクで駆けつけた80歳のつわもの画家も。個性溢れたクラフトマンとオリジナルティに富んだ手作り工芸品の数々。

時折ウグイスの声が響く中、観光客が次から次へと立ち寄り、興味深 そうに見入っていた。手に取りながら、出品者とのコミュニケーションも 弾む。オーストラリアからのツアー客も足を止め、お気に入りをお土産 にしていた。

この工芸市を企画したのは中村 功さん、65歳。創刊号の「セカンドライフを楽しむ」に登場していただいた方で1年半ぶりの再訪。クラフトギャラリーを経営しながら銅線画を描き、とんぼ玉を制作するご自身もクラフトマン。当初から工芸市の運営に携わり、話題性を作りながら地域を元気にしたいと考えている。観光客と出品者の様子を見守りながら、この日も会話の中心に中村さんの姿はあった。(木漏れ日)



高遠の水彩画家・加川瀛介さんの 別所温泉駅の風景画

連載

身症(病は気から

心身症という病気

心

 \bar{o}

ケアということが、現在

なに昔の事ではなく、ちょうど30 身症」と呼びます。この言葉が日 と想定される病気を、纏めて「心 が身体状況と大きな関係を持つ て来たからです。心の在りよう ということが、科学的に認められ 体の健康に大きな影響を与える ばれるかというと、心の傷が、身 す。何故こんなに心のケアが叫 の1982年は中曽根康弘氏が 本語として登場したのは、そん 種 の流行のようになっていま の1982年のことです。こ

> されていたでしょうか。 れた年です。皆さんは何処で何を した年、映画「ET」が封切りさ 総理大臣になった年、松田聖子の 赤いスイートピー」が大ヒット

増え続ける心身症

医学会のホーム・ページには、お 性・糖尿病・更年期障害・鼻炎・口 リウマチ・アトピー・めまい・冷え 息・高血圧・胃潰瘍・下痢・便秘・ 内炎・肥満などなど、日本心身症 病気の種類のことです。例えば喘 はなく、心身症と「認定」される けています。病気になる方の数で 心身症は、現在 もなお増え続

> すれば、心身症は、医学界の 治療法も確立していない訴えや そうです。原因が明確ではなく、 全ての病気が心身症と認定され 道になってしまっているとも言え 病気に対して、意地悪な見方を けることが出来ます。この分では、 染みの病気を100以上見つ さなだクリニック 澤田祐介 逃げ

馴

精神神経免疫学

るかもしれません。

疫学という学問が産声を上げま ター大学医学部で、精神神経 ニューヨークです。ここのロチェス した。精神つまり心の在り方が、14 ことの始まりは 1 9 7 6

ない な研究が始められたのです。 気 能 律 配を不調 かという仮説の元に、科学的 の大きな原因となるのでは 神 . 経 に影 にし、それが身 響を与え 体 免 疫 0

はない の秘訣とはよく聞くことです。 くよせずに生活することが健 た」などという本が、ベストセ 持法」「この笑顔で冷え性が治っ 後は「メタボ予防の心の持ち方」 ならば、大胆な予測ですが、今 うことです。それが装いも新た という諺の科学的検証作業とい すが、言ってみれば「病は気から」 に日本に上陸したという訳です。 に、心身症という名前で、6年後 「病は気から」ならば、また逆に 糖尿病 「健康は気から」とも言えるので 難しそうな名前がついてい ・でしょうか。明るく、くよ にならない気持ちの維 ŧ 康

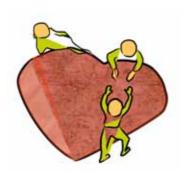
た出典があるのです。は気から」の諺には、れっきとし談はともかくとして、日本の「病ラーになるかもしれませんね。冗

阿毘達磨倶舎論ア ビタツマ クシャロン

仏教研 す。そしてこれを「安危同一」と呼 わば生理学的・有機的 れるものである。心と身体は、い に、「身体とは心によって維持さ の御宗旨です。この倶舎論の 本では奈良興福寺や京都清 三蔵法師の建てられた宗派で、 されました。法相宗は西遊 えられ、特に法相宗で大変に研究 があります。この経典は後 回 いうお坊さんが書いたとされる ある」という言葉が出 5世紀後半のインドで、世 |達磨倶舎論という仏教 究 の基本図書 因 果 てきま つに数 世 関 なか 水寺 記 上まで 経 親 典 日 0)

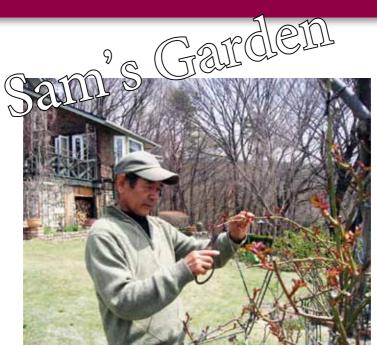
とにしましょう。

身体 科学が1976年になってやっと す。凄いと思われませんか。近代 して一心同体ですよということで しておれば身体もまた危ない。 体 びます。心が安心・安穏 るか、ワクワクしながら見守るこ も前に指摘しているんです。心と 気づいたことを、1500年以上 まり心と身体は安全・危険に関 も、心が危なっかしくフラフラ \ddot{o} 秘密がどこまで解明され なら ぼ



セカンドライフを楽しむ





バラの剪定をする内川さん

まで花の饗宴が広がる。
1400坪、小諸市郊外の標高種類以上の花々を育てる。広さ種類以上の花々を育てる。広さ

内川 進さん、65歳、職業は英語内川 進さん、65歳、職業は英語を流し、夕方から夜まで教壇に立つ。かな表情に秘められた活力はどこかな表情に秘められた活力はどこかな表情に秘められた活力はどこからら

寄った小諸の街並みが気に入り、駅等があった。ひとつは山林を買って花とと。もうひとつは山林を買って花なと。もうひとつは山林を買って花など。もうひとつは山林を買って花ないっぱいにすること。最初の夢は40年かのでがら英語力に磨きをかけ、レ英語塾に勤めた後、渡欧。通訳などがかでがら英語力に磨きをかけ、レダがあった。ひとつは英語塾を開くる代の頃、内川さんにはふたつの20代の頃、内川さんにはふたつの

は軌道に乗る。 も始める。塾生は順調に増え、経営がら、警察や裁判所の通訳や翻訳を開く。小・中・高校生らに教えなを開く。小・中・高校生らに教えな

斜面で重機が入らないので、全て手

作業。試行錯誤の後、ほぼ自分のイ

メージ通りになったところで、種ま

たつ目の夢に大きく近づいた。 保裕ができたところで、ふたつ目の夢に向かって動き出す。まずは土山でアクセスの容易なところ、広さ山でアクセスの容易なところ、広さ山でアクセスの容易なところ、広さ山でアクセスの容易なところ、広さいときだった。眼下に小諸市の街並とか、真南にはるか富士山を望むことのときだった。 眼下に小諸市の街並と、 真南にはるか富士山を望むことの夢に向かって動き出す。まずは土の夢に向かって動き出す。まずは土の夢に向かって動き出す。まずは土の夢に向かって動き出す。まずは土の夢に向かって動き出す。

けて徐々に増やし、春から秋まで花

きや球根を植え始める。年月をか



を作ったり、壊したりを繰り返す。しながら、レイアウトを練る。花壇

がら、庭のデザインに取り掛かる。

もともとあった樹木を生かしな

土地の形状、日当たりなどに配慮



配る。 草や宿根 ように気を 途切れない

入り。現在 ラも仲間 草に加えバ

本ほど

難しい。だが、気品を感じさせるバ りを添えている。「バラは手入れが 惹かれる」と話す。 リアやマチルダの清楚なピンクに心 ラは花の女王だと思う。特にコーネ のバラが彩

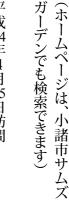
な山々、至福の時だ。 もとには可憐な花々、遠くには雄大 けたときが最も感動するという。足 多いが、こぼれ種からの発芽を見つ ンガを積んだりとハードな作業が 芝刈りや除草、土を運んだりレ

> 5年前から一般開放を始めた。N すにつれて、口コミで評判は広がり、 HKの「素敵にガーデニングライ フ」で放映されたこともあり、来訪 花の種類が増え、華やかさを増

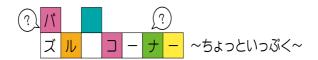
平成24年4月25日訪問

7月下旬まで開放している。 7000人以上が訪れた。今年も 者は増える一方、昨年はシーズン中

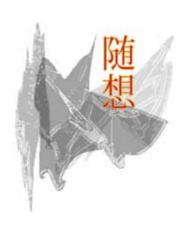
さん、長年の努力の賜物だ き続けている。 も拡張中で、夢の大輪は咲 な日々に戻る。庭園は現在 終わると花と対話する静か やかだ。オープンガーデンが が、淡々と語る姿はとても爽 をふたつも実現させた内川 しく過ごしたい」。大きな夢 てこない。一日一日を自分ら 「今という時は二度と戻っ







例:	生法	舌]—	\rightarrow	空間	•	設計	+•	水準	
]—	\rightarrow	図形		映画		交差	
]—	\rightarrow	手形		組合		金庫	
] —	\rightarrow	衛星		教育		販売	
]—	\rightarrow	音感		多数		絶命	
	官民		渾然		三位	_	\rightarrow			
	正四		正多		正八		\rightarrow			
	田園		中立		山岳	_	\rightarrow			
	対馬		千島		赤道	_	\rightarrow			
	出没		変幻		自由		\rightarrow			
			こ共通 ⁻ 語にしま		2文字 う。	を入	ħ			



心の言葉としての 方言について

の猛威であるとすれば、ただその

嶋田貴美子

やり切れないものとする。

それがまた小島さんの心を、より て誰も恨むことはできないのだ。 前に頭を垂れるだけで、何もそし

県陸前高 一人、小島幸久さんの声を、朝日 泣きてえけど、上手に泣けね 「が出ねんだ」という、岩手 田 市の震災の被害者の

> 地獄 新 島さんを追い込んだ相手が自然 宅で暮らしているという。まさに 災のときの津波で奪われ、仮設住 んは妻と七歳の娘とを東北大震 ない人はいないであろう。小島さ 悲しみと絶望を、そのままに感じ さんの持つどうにもやりきれ いる。この言葉を目にして、小島 『聞は「千人の声」の中で伝えて 会のような悲惨な状態に小 ない

> > がある。

伝

悲しみなどという感情では表 こつこつと日々作り上げてきた それは過去の思い出も、それまで きれない儚い人生への絶望がある。 え」という小島さんの気持ちには、 「泣きてえけど、上手に泣けね

の、どうにも処置できない無力感 浚っていってしまった理不尽な自家族の幸せも、みんな跡形もなく 然の力の前に立ち尽くす被災者

強く生まれる。 ている。方言によってその村落 した人間の生き様を方言は表 に土にまみれ、必死に生きてきた たのが方言ではないだろうか。特 そこに住む人々の生活や文化を である。土に生きる自然と一 人々の村落には、方言色が豊 取り込んで独自に育まれてい 言葉が、地域地域の風土の中 だと私は思っている。そしてその 、々は繋がり、共同体の意識 える手段として生まれたもの 言葉そのものは、自然の真実を 体化 か

叫びには、それほどの方言色はな 頭 に掲げた小島 っさん 0

もの る東 わ ない気持ちを、標準語で語られた 間 け れ 置 に 0 忍耐 以 北 れども、 は痛切に感じるのである。 かれている立場から来る、 この言葉を語った小島さん 上に、それを目にしたわ の人ならでは を越えたどうしようも 言葉 の端 の朴 々に 訥 見 な 5 ħ

を使 育つ な 校 都会と往来が激しくなって、私の 昭 く十年ほど過ごしてきた。しかし Ł 牛 郷 和 り 生 私 た。その地域の中でその方言 方言 の小 いそのことに何の疑 自 のに聞こえた。それまで自 耳 た が 三十年近くになると地 ってきた方言がいかに に 身、 ち ちらほ は 学校にも東京からの転 Ó 色の強 静岡 とてもきれ 使う言 ら見え 県の南西 い地域 葉 は、 出 L 部の、か で上 問 で生れ 土着 方も ŧ な

> に住んでいるが、年を重 身につけた。いまは長 なった。私は完全に う思っていた。そして実際に 私も東京で暮らした 舎臭く、野暮っ たく見 東京言 野 えた ねた 県 。いつも 0) ŧ V 上 葉 こそう 0) ま 田 を だ

故郷 や山 の地域共同体であり、その共同その本質にあるものは、その当時 言である。 体 ろん子どものころ遊んだ海や を強い力で結び付 気が懐かしくてならない。 の懐かしさは強 けていた方 い。しかし もち Щ

説

限 グローバル化などという近 ていた地 で、水も漏らさない固 な意味を持ち得ない その土 思潮にすっかり崩 界 、集落などというものに生ま 域 地 共 0) 人 同 た 体は、 ちに 壊 独特 してし い結 個人 L 東 な か十 主 代 を 方 ま かい 義 化 分

> にその 勢を忘れ、原子力発電などの、方 言の域を超えた経済優 ΰ どんどん廃 7 座を委ねつつある 生 きる自 れ 一然との 共 先の社会 生 0) を 姿

耕 は

それを書き尽くすことが 代に背景を置くことにしてい という観念は強く、小 ていたその より地域の皆ががっちりと繋 もなるが、人間の本質は、 つもい 間 を を書きながら、そこに本 生をじつくり伝える方言 私はちょっとしたきっか 仕 0) 書き始め、もう十年 事だと思っている。 優 ま しさと崇高さを見 から何十 あ りように 年 説の 存 か 方言 · 余 前 在 私 来 け 핊 する 的 で小 りに で小 でが 0) 時 は に

れ

変

わっている。それと共に方

古代蓮(大賀蓮)の魅力



大賀蓮は昭和26年に 千葉県の研見川遺跡の約 2000年前の地層から3 粒の種が発掘された。それ から発芽に成功、全国的に も栽培が広がっており、淡 いピンクの花は独特で古代 の魅力に引き込まれる思い がする。

近隣では上田市の信濃国 分寺に隣接する水田でも、 花咲く季節を迎えると市民 の憩いを誘っている。

写真・文 矢幡正夫



3 4bunno3 BAG http://www.4bunno3.com/

このバック、廃材を使っています。白 い部分はテント地、紐はシートベルト です。「え?これ障がい者がつくって るの?」と驚かれる商品をつくりた いということで作られた物です。"よ んぶんのさん"それは100%を追求し すぎない、足りないくらいがちょう どいいという感覚。だから「4bunno3 BAG! です。



田小県地域の歯科医療の源流を辿る

のですが、残念ながら今となっては知る由 と想像しています。どのようなルートで上 受験するために上京します。明治27年、 のだろうかなど疑問は次々と湧いてくる だろうか、東京で頼るべき知り合いは居た を目指す旅はさぞかし心細かっただろう 歳でした。遥か故郷を離れ、ひとりで東京 **京したのだろうか、路銀はどう工面したの** 歯科の医術開業試験は学説と実地が 歯科器械など基礎医学の筆記 は、医術開業試験を 良治の下で歯科 病理、治療術式、

術を学んだ門

小倉

加強を

山歯科医学院に学ぶ

明治29年4月、高山歯科医学院に学ぶ学生と教員による 観桜会が開かれた。高山院長は不在だったようで、子息の高山 基が写っている(第2列右から8番目)。寄宿舎もあって家族的 な学校であった。門石長秋は第3列右から2人目、また第4列 右から4人目には野口清作(後の野口英世)の名前もあり、門 石と野口はどんな会話を交わしたのだろうかなど興味は尽きな い。この経緯については後に述べたい。

高山歯科醫學院第二间院友會(明治二十九年四月學院内に於て

日本歯科医学史学会会員 元海野町歯科診療所長 村居 正雄

歯科薬品、

あって、学説は解剖、生理、

もありません。

試験と、実際に患者さんを診て診 は年に1回だけで、明治27年は受験資格として2年以上の修業経 受験資格として2年以上の修業経 受験資格として2年以上の修業経 は年に1回だけで、明治27年は受 は年に1回だけで、明治27年は受 は僅か36名と大変に厳しいもので は僅か36名と大変に厳しいもので

当時、東京には歯科医学を学ぶ とめの学校が数校あって、門石は芝 をかの学校が数校あって、門石は芝 をが資格取得を目指して学んでい 名が資格取得を目指して学んでい 名が資格取得を目指して学んでい を学院でした。門石が高山歯科 医学院でした。門石が高山歯科 を学院で学んでいたことを立証す る一枚の写真があります。(23頁)

でした。

R三田駅から慶応義塾の横を抜けなっています。一昨年2月、私はJ住所は芝区三田3―8岡野方と窓会)名簿によると、当時の門石の窓会)名簿によると、当時の門石の

費を工 て魚籃坂、伊皿子坂と門石も歩いR三田駅から慶応義塾の横を抜け して決して安いものではありません 験5円で、これも当時の貨幣価値と 験手数料は、学説試験8円、 史散歩でした。因みに医術開業試 の頑張りに思いを馳せながらの、歴 技術を学ぶなど研鑽を続けた門石 学院跡を訪ねました。下宿 たであろう道を辿って高 なっています。一昨年2月、 面しながら、開業医の下 山 、実地試 協科医 代や ァ

歯科医学の新しい息吹を信州に

医籍に登録しています。歯科医師れて医術開業試験に合格し、歯科明治30年、門石は弱冠20歳で晴

明治30年1月発行の院友会(同



当時の歯科医学校の講義風景

け継がれ、西洋歯科医学の吸収と エネルギーは門石の中に脈々と受 維新を成し遂げた若者たちの 番号は第370号でした。 千曲 が奨励され、 川、矢出沢川 丸子の依

治

証

クするものでした。 に選んだのか、その謎解きはワクワ 分県出身の彼が何故上田を開業地 許取得直後の同年10月、門石は小 普及に注がれることになります。免

県郡上田町で開業するのですが、大

八十二

銀行の前身であることは良

生します。国立十九銀行が現

在の

地域の経済的発展があります。 小地域は、江戸時代から蚕糸業が くつか考えられますが、一つはこの 上田で開業した理由としてはい

の富国強兵策を受けて飛躍的に発 盛んでしたが、明治期になると政府

農家の 産が特に盛んで、病気に強い品種の 展します。蚕糸業の中でも蚕種生 から買い付け業者が集まりました。 地域ぐるみで取り組み、全国 「副業として養蚕・生糸生産

> が作られ、横浜に向けて出荷され 元手に金融会社、銀行が次 ました。蚕糸産業で儲かった資金を 沿 \ddot{V} に製糸 人々と誕 工. 場

隆盛に拍車をかけたのは県下に先 した。明治21年にまず軽井沢 駆けて敷設された鉄道・信越線で 直

く知られています。そして蚕糸業の

上野 人や物が活発に往来しました。 直江津間が全線開通となり、

あった碓氷トンネルの貫通によって 江津間が開通、同26年には難関

で

明治 間で約4万人も増加したのです。人 同33年には12万7366人と20年 口が急増し、 上小地域の人口も急増します 13年8万7705人でしたが 、しかも景気の良かった

|田で、新しい技術を持った歯科医

門 0 開業が切望されていました。 石 が上田 で開業した当時、

野県内で開業していた国家資格を

田

፲፱

H

 \blacksquare

0

師

幡英之助を頼って上京して歯科医 少年期を大分県中津で過ごし、小 ち長野で開業していた俣野景憲は 持つ歯科医師は7名でした。そのう

が大分県関係者だったことは何と 大分県大野郡出身と8人中4人 した。そして8番目開業の門石が 杵の出身、大江十郎は中津出 業していた高橋虎重は、大分県臼 師になった人です。そして伊那で開 身で

ない何かがありました。さらに当時 のか、神の糸に導かれたとしか言え も不思議です。どうして大分県出 身の歯科医師が長野県に集まった

重、高遠の伊藤市郎、下 ち長野の有本和貴、伊那の高 長野県内で開業していた7名のう 諏 訪

郎は全 25

三佐男、上諏訪の笠原恭

町での開業でした。 同郷・同窓の友人に囲まれての上田ことが院友会名簿でわかりました。

と思います。(つづく)と思います。(つづく)と思います。(つづく)と思いますな関が、また野口英世とはどのような関彼を駆り立てた理由は何だったの会の組織作りに奔走するのですが、会の組織作りに奔走するのですが、

パズル 答 立体 → 図形 ・ 映画・ 交差 信用 手形 組合 • 金庫 通信 → 衛星・ 教育 • 販売 音感 絶対 多数 • 絶命 官民・ 渾然 三位 一体 角形 正四 • 正多· 正八 地帯 田園・ 中立 山岳 対馬 • 千島 · 赤道 海流 出没· 自在 変幻: 自由

26

上田小県誌(第3巻)社会編平成3年

上

田

小

昭和43年

師会

昭和15年

歯科医事衛生史(前巻)

日本歯

科

医

東京歯科大学百年史

東京歯科大学

あとがき

上田市天神にあるショッピングセンター「アリオ」の2階にミーティングスペースのような一角がある。長テーブルに椅子6脚が2組。飲食用テーブルや休憩用ソファが多い中、ここだけは小さなオフィスのよう。

6月中旬、ここで電子ジャーナル「環」の編集会議を開いた。通常は 上田情報ライブラリーで開くが、「ちょっと気分転換に」と初の試み。 買い物客が行き来し、若干の落ち着かなさはあったものの、会議はスムー ズに進んだ。大きな声を出しても迷惑にならないので、存分に喧々諤々。

数日後、上記に関連するような新聞記事を見つけた。コミュニティデザイナー山崎 売さんを紹介する記事で、山崎さんはモノを造らずに人がつながる仕組みをつくり、共同体の再生を請け負うのが仕事。地域の暮らしを体験するツァーを仕掛けたり、デパートの店内にNPOの活動の場を整えて、集客力アップにつなげたりしている。

自分たちが行なった編集会議はまさにこの趣旨にピッタリ。思いつきでやった小さな試みだが、大きな時流に乗っていたのかもしれない。

(木漏れ日)

----- 電子ジャーナル 環 スタッフ -----伊藤文子 海野 郁 西入幸代 東方明子 宮下明彦 矢幡正夫 吉池みどり

環 千曲川地域の人と文化 2012年7月発行 NPO法人上田図書館倶楽部

第7号 夏野